

経常黒字 4.3倍の8.6兆円

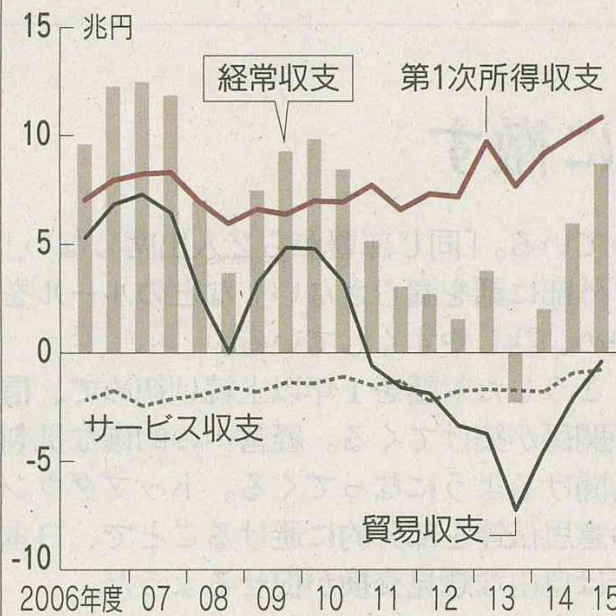
4～9月 訪日客急増など寄与

財務省が10日発表した2015年度上期（4～9月）の国際収支速報によると、モノやサービスなど海外との総合的な取引状況を表す経常収支は8兆6938億円の黒字となり、前年同期に比べ約4・3倍に拡大した。訪日外国人観光客の急増

などでサービス収支の赤字が統計上比較できる1996年以降で最少になったことが目立った。企業が海外から受け取る利子や配当金が増えた影響も大きい。（関連表3面に）

経常黒字は14年度上期以降3期連続。経常収支は東日本大震災後に原油の輸入増で一時的に赤字に陥ったが、その後は原油安などを背景に急速に改善している。15年度上期の黒字額は震災前の10年度上期以来の最高水準となった。

経常黒字は10年度上期以来の水準に



で、赤字額は前年同期から5兆418億円減った。旅行や輸送などのサービス赤字は7976億円と、金額は前年同期の1兆8025億円から半